

## IV. 調査結果の分析

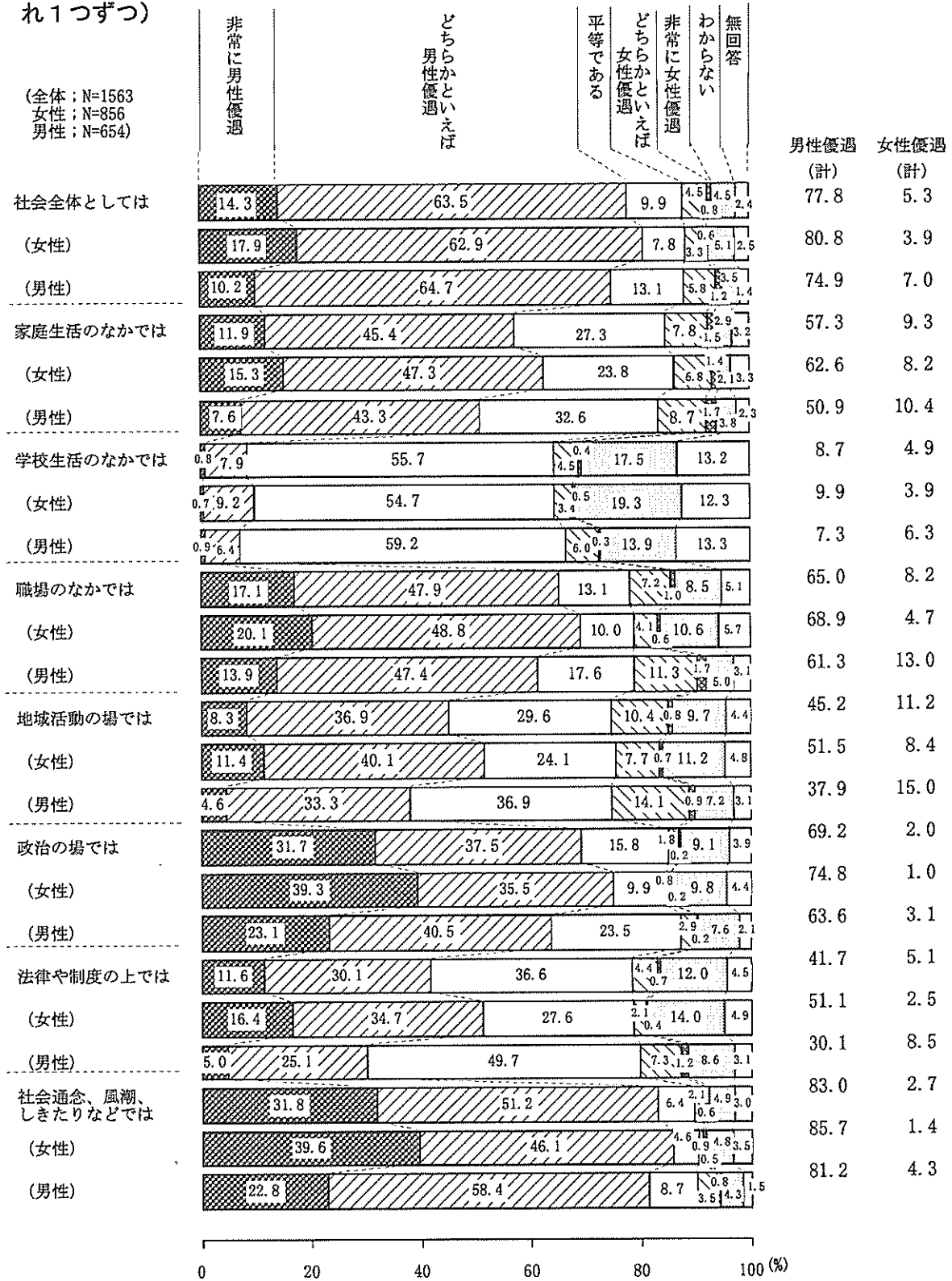


# 1. 男女平等について

## 1-1. 男女平等に対する評価

問1 あなたは、今の日本の社会では、男女が平等になっていると思いますか。アからクのそれぞれについて、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

(全体; N=1563  
女性; N=856  
男性; N=654)



◇ 「男性優遇」は「社会全体」が約8割、「社会通念、風潮、しきたりなど」が8割強で最も多い。

男女の地位についての評価を、社会全体及び7つの局面について尋ねたのが以下である。

「男性優遇」（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）の割合は、「社会全体」で 77.8%となっている。7つの局面のうち、「社会通念、風潮、しきたりなど」では「男性優遇」が 83.0%で、「社会全体」を上回っている。次いで「男性優遇」が過半数になっているのは、「政治の場」（69.2%）、「職場」（65.0%）、「家庭生活」（57.3%）の3つの局面である。

一方、「平等である」という回答は、「学校生活」のみが 55.7%と過半数を占め、「法律や制度」（36.6%）や「地域活動の場」（29.6%）、「家庭生活」（27.3%）などは3分の1程度である。

「女性優遇」（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）の割合は、いずれにおいても10%以下である。

#### 【性別】

「平等である」は、すべての局面で、男性が女性よりも高く、回答割合の男女差が大きいのは、「法律や制度」（22.1 ポイント）、「政治の場」（13.6 ポイント）、「地域活動の場」（12.8 ポイント）などの順。「男性優遇」は、男女ともに「社会通念、風潮、しきたりなど」「社会全体」「政治の場」「職場」が上位を占めているが、「社会通念、風潮、しきたりなど」については男女差が 4.5 ポイントにとどまっているのに対し、「政治の場」については女性が男性を 11.2 ポイント上回っている。「政治の場」のほか、「法律や制度」（21.0 ポイント）、「地域活動の場」（13.6 ポイント）、「家庭生活」（11.7 ポイント）などは男女の評価の違いが大きい。

#### 【性・年代別】

20～50 歳代では、すべての局面で、女性が男性よりも「男性優遇」と受け止めている。「男性優遇」について男女の回答の違いをみると、20 歳代では「家庭生活」（20.6 ポイント）、30 歳代では「地域活動の場」（32.2 ポイント）、「法律や制度」（28.6 ポイント）、「職場」（23.0 ポイント）が、他の年代よりも男女差が大きい。40～50 歳代では「法律や制度」「政治の場」、50 歳代では「法律や制度」「政治の場」「地域活動の場」で、男女差が比較的大きくなっている。60 歳以上では、男女の評価の違いが比較的小さく、「職場」「社会全体」「社会通念、風潮、しきたりなど」「政治の場」などについては、20～50 歳代とは反対に、男性が女性を上回っている。

#### 【地域別】

「男性優遇」は、「家庭生活」「地域活動の場」では、県東地域が他の3地域よりも高い。「政治の場」では、県北、県央、県東、県南地域の順。「法律や制度」では、県北、県東地域が他の2地域よりも高く、「社会通念、風潮、しきたりなど」は、県北、県央地域が他の2地域よりも高い。

(%)

## &lt;社会全体としては&gt;

	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されればいい男性の方が優遇されている	平等である	どちらが優遇されればいい女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体	1563	14.3	63.5	9.9	4.5	0.8	4.5	2.4

## 【性別】

性別	女性	856	17.9	62.9	7.8	3.3	0.6	5.1	2.5
	男性	654	10.2	64.7	13.1	5.8	1.2	3.5	1.4

## 【性・年代別】

性別	年代	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されればいい男性の方が優遇されている	平等である	どちらが優遇されればいい女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
		女性	20歳代	115	22.6	61.7	7.0	4.3	-
女性	30歳代	148	16.9	68.2	7.4	2.0	-	5.4	-
	40歳代	157	23.6	64.3	3.2	2.5	0.6	2.5	3.2
	50歳代	197	17.8	68.5	4.1	3.6	0.5	3.0	2.5
	60歳以上	238	12.2	54.6	14.7	3.8	1.3	9.7	3.8
	男性	20歳代	83	7.2	72.3	6.0	2.4	1.2	9.6
男性	30歳代	87	10.3	60.9	14.9	4.6	5.7	3.4	-
	40歳代	109	10.1	65.1	11.9	8.3	0.9	3.7	-
	50歳代	174	13.2	63.2	17.2	3.4	-	1.7	1.1
	60歳以上	200	9.0	64.0	12.5	8.5	0.5	2.5	3.0

## &lt;家庭生活のなかでは&gt;

全体	1563	11.9	45.4	27.3	7.8	1.5	2.9	3.2
----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----

## 【性別】

性別	女性	856	15.3	47.3	23.8	6.8	1.4	2.1	3.3
	男性	654	7.6	43.3	32.6	8.7	1.7	3.8	2.3

## 【性・年代別】

性別	年代	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されればいい男性の方が優遇されている	平等である	どちらが優遇されればいい女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
		女性	20歳代	115	15.7	47.0	27.0	4.3	2.6
女性	30歳代	148	16.9	48.6	25.7	5.4	-	2.7	0.7
	40歳代	157	17.2	51.0	23.6	5.1	0.6	0.6	1.9
	50歳代	197	15.7	50.3	16.2	10.2	2.5	0.5	4.6
	60歳以上	238	12.6	41.6	27.7	7.1	1.3	4.2	5.5
	男性	20歳代	83	4.8	37.3	36.1	9.6	1.2	9.6
男性	30歳代	87	6.9	54.0	21.8	6.9	2.3	6.9	1.1
	40歳代	109	8.3	44.0	36.7	5.5	3.7	1.8	-
	50歳代	174	8.6	39.7	35.6	10.3	1.1	2.9	1.7
	60歳以上	200	8.0	44.0	30.5	9.5	1.0	2.0	5.0

(%)

## &lt;学校のなかでは&gt;

	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体	1563	0.8	7.9	55.7	4.5	0.4	17.5	13.2

## 【性別】

性別	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
女性	856	0.7	9.2	54.7	3.4	0.5	19.3	12.3
男性	654	0.9	6.4	59.2	6.0	0.3	13.9	13.3

## 【性・年代別】

性別	年代	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
			女性	20歳代	115	0.9	9.6	66.1	3.5
	30歳代	148	2.0	14.2	64.9	3.4	-	10.1	5.4
	40歳代	157	-	10.2	68.2	3.2	0.6	10.2	7.6
	50歳代	197	1.0	9.1	45.7	3.0	0.5	23.4	17.3
	60歳以上	238	-	5.5	41.2	3.8	0.8	28.2	20.6
男性	20歳代	83	-	6.0	67.5	8.4	1.2	13.3	3.6
	30歳代	87	1.1	6.9	60.9	8.0	-	16.1	6.9
	40歳代	109	0.9	6.4	67.0	5.5	0.9	9.2	10.1
	50歳代	174	0.6	7.5	55.7	5.7	-	12.6	17.8
	60歳以上	200	1.5	5.5	53.5	4.5	-	17.0	18.0

## &lt;職場のなかでは&gt;

全体	1563	17.1	47.9	13.1	7.2	1.0	8.5	5.1
----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----

## 【性別】

性別	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
女性	856	20.1	48.8	10.0	4.1	0.6	10.6	5.7
男性	654	13.9	47.4	17.6	11.3	1.7	5.0	3.1

## 【性・年代別】

性別	年代	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
			女性	20歳代	115	23.5	49.6	13.9	2.6
	30歳代	148	25.0	52.0	10.1	3.4	-	8.1	1.4
	40歳代	157	21.0	58.6	8.3	2.5	-	6.4	3.2
	50歳代	197	19.8	51.3	9.1	7.1	1.5	6.1	5.1
	60歳以上	238	14.7	38.2	10.1	3.8	0.4	20.2	12.6
男性	20歳代	83	19.3	42.2	16.9	7.2	2.4	9.6	2.4
	30歳代	87	14.9	39.1	17.2	20.7	2.3	4.6	1.1
	40歳代	109	11.0	52.3	17.4	13.8	2.8	2.8	-
	50歳代	174	16.1	48.3	20.1	9.8	1.7	2.9	1.1
	60歳以上	200	11.0	50.0	15.5	9.0	0.5	6.5	7.5

<地域活動の場では>

		調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえれば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえれば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答 (%)
全 体		1563	8.3	36.9	29.6	10.4	0.8	9.7	4.4

【性別】

性別	女 性	856	11.4	40.1	24.1	7.7	0.7	11.2	4.8
	男 性	654	4.6	33.3	36.9	14.1	0.9	7.2	3.1

【性・年代別】

性別	20歳代		7.8	30.4	24.3	7.8	2.6	25.2	1.7
	女 性	30歳代	148	12.2	45.3	25.0	4.1	0.7	12.8
40歳代		157	10.2	52.2	24.8	5.1	-	4.5	3.2
50歳代		197	13.7	45.2	18.3	11.2	0.5	5.6	5.6
60歳以上		238	11.3	29.4	27.7	8.8	0.4	12.6	9.7
男 性		20歳代	83	2.4	30.1	34.9	18.1	-	12.0
	30歳代	87	4.6	20.7	37.9	11.5	2.3	18.4	4.6
	40歳代	109	4.6	45.9	27.5	12.8	0.9	5.5	2.8
	50歳代	174	5.7	29.9	39.7	16.7	1.7	5.2	1.1
	60歳以上	200	4.5	36.5	39.5	12.0	-	3.0	4.5

<政治の場では>

全 体		1563	31.7	37.5	15.8	1.8	0.2	9.1	3.9
-----	--	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----

【性別】

性別	女 性	856	39.3	35.5	9.9	0.8	0.2	9.8	4.4
	男 性	654	23.1	40.5	23.5	2.9	0.2	7.6	2.1

【性・年代別】

性別	20歳代		46.1	38.3	3.5	0.9	-	9.6	1.7
	女 性	30歳代	148	50.7	35.8	4.7	0.7	0.7	7.4
40歳代		157	45.9	38.2	5.7	1.3	-	7.0	1.9
50歳代		197	43.7	38.1	7.6	-	-	6.1	4.6
60歳以上		238	20.6	30.3	21.0	1.3	0.4	16.4	10.1
男 性		20歳代	83	32.5	38.6	12.0	1.2	-	14.5
	30歳代	87	27.6	47.1	18.4	2.3	-	4.6	-
	40歳代	109	27.5	37.6	23.9	3.7	0.9	6.4	-
	50歳代	174	23.6	40.2	23.6	4.0	-	8.0	0.6
	60歳以上	200	14.5	40.5	30.0	2.5	-	6.5	6.0

(%)

&lt;法律や制度の上では&gt;

	調 査 数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえれば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえれば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全 体	1563	11.6	30.1	36.6	4.4	0.7	12.0	4.5

【性別】

性別	女 性	856	16.4	34.7	27.6	2.1	0.4	14.0	4.9
	男 性	654	5.0	25.1	49.7	7.3	1.2	8.6	3.1

【性・年代別】

性別	年代	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえれば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえれば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
		女性	20歳代	115	18.3	29.6	26.1	5.2	0.9
女性	30歳代	148	23.0	41.2	23.0	2.7	0.7	8.8	0.7
	40歳代	157	15.3	43.3	26.1	0.6	-	10.8	3.8
	50歳代	197	16.8	40.1	25.4	1.0	0.5	9.6	6.6
	60歳以上	238	11.8	23.1	33.6	2.1	-	21.0	8.4
	男性	20歳代	83	6.0	25.3	44.6	7.2	1.2	12.0
男性	30歳代	87	5.7	29.9	42.5	9.2	4.6	6.9	1.1
	40歳代	109	7.3	30.3	41.3	13.8	-	4.6	2.8
	50歳代	174	5.2	25.9	51.7	7.5	0.6	8.6	0.6
	60歳以上	200	3.0	19.5	58.0	2.5	1.0	10.0	6.0

&lt;社会通念、風潮、しきたりなどでは&gt;

全 体	1563	31.8	51.2	6.4	2.1	0.6	4.9	3.0
-----	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----

【性別】

性別	女 性	856	39.6	46.1	4.6	0.9	0.5	4.8	3.5
	男 性	654	22.8	58.4	8.7	3.5	0.8	4.3	1.5

【性・年代別】

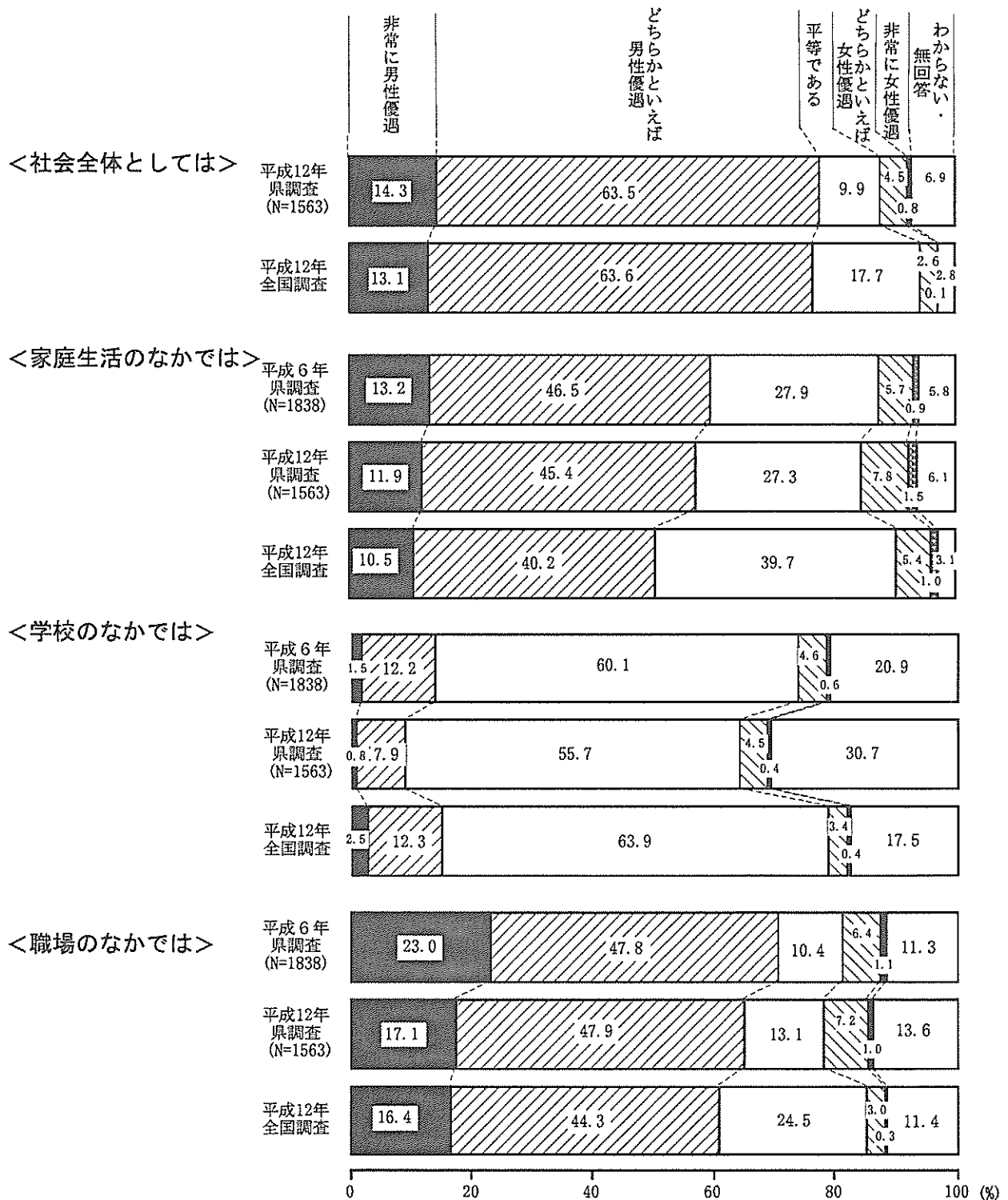
性別	年代	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえれば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえれば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
		女性	20歳代	115	47.0	42.6	3.5	-	-
女性	30歳代	148	50.0	41.9	5.4	-	-	2.7	-
	40歳代	157	52.2	42.0	1.3	-	0.6	1.9	1.9
	50歳代	197	37.6	49.2	3.0	1.5	-	4.1	4.6
	60歳以上	238	22.7	50.8	8.0	2.1	1.3	8.8	6.3
	男性	20歳代	83	25.3	51.8	4.8	3.6	1.2	12.0
男性	30歳代	87	24.1	58.6	9.2	5.7	1.1	-	1.1
	40歳代	109	26.6	56.9	9.2	3.7	0.9	2.8	-
	50歳代	174	24.7	58.0	9.8	2.9	0.6	3.4	0.6
	60歳以上	200	17.5	62.0	9.0	3.0	0.5	4.5	3.5

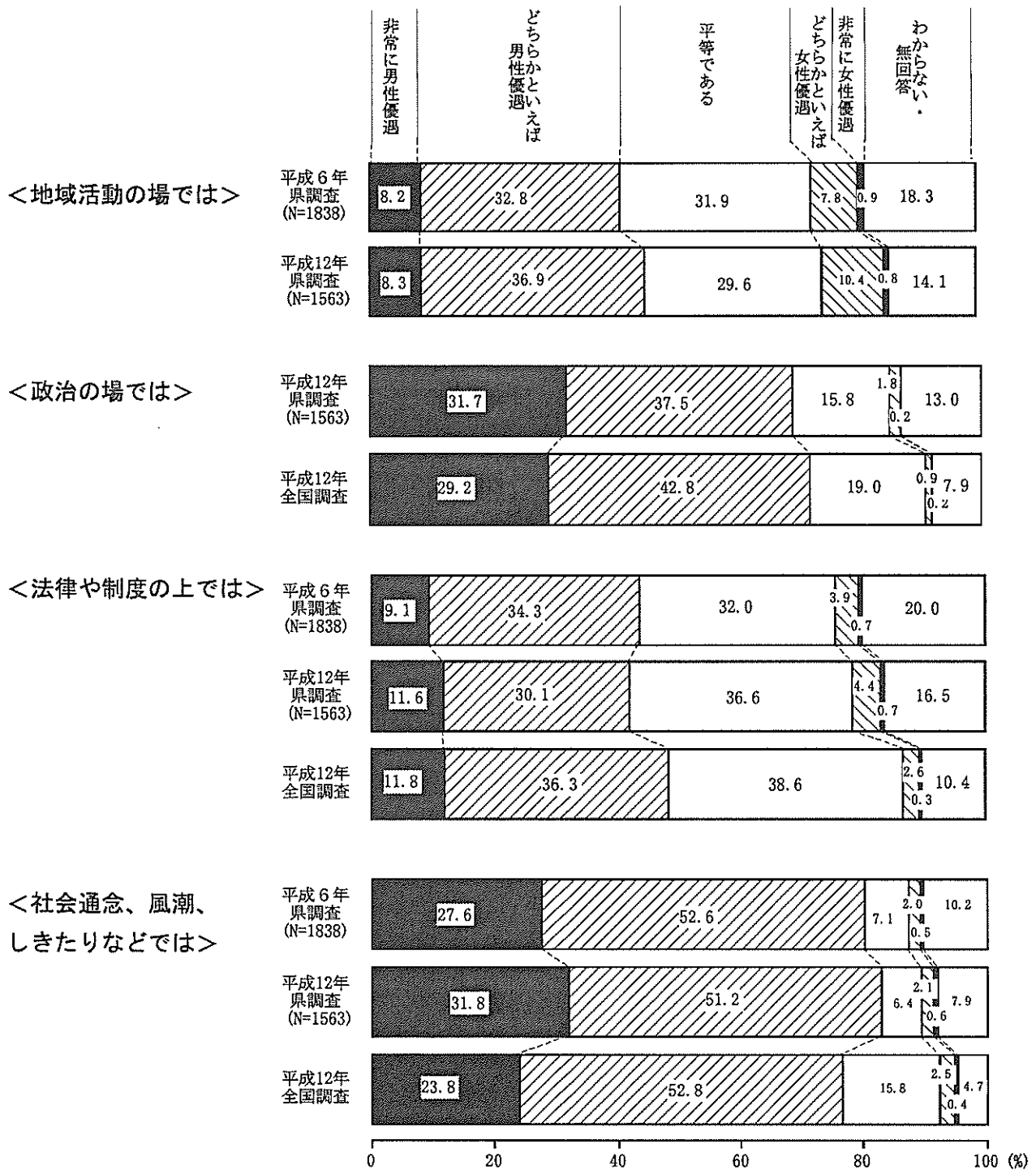


【全国調査・前回調査との比較】

<全国調査>と比べると、「社会全体」での「男性優遇」の割合は、ほぼ同程度となっているものの、「平等である」の割合は約8ポイント低い。全国よりも「男性優遇」の割合が高いのは、「家庭生活」「社会通念、風潮、しきたりなど」「職場」である。

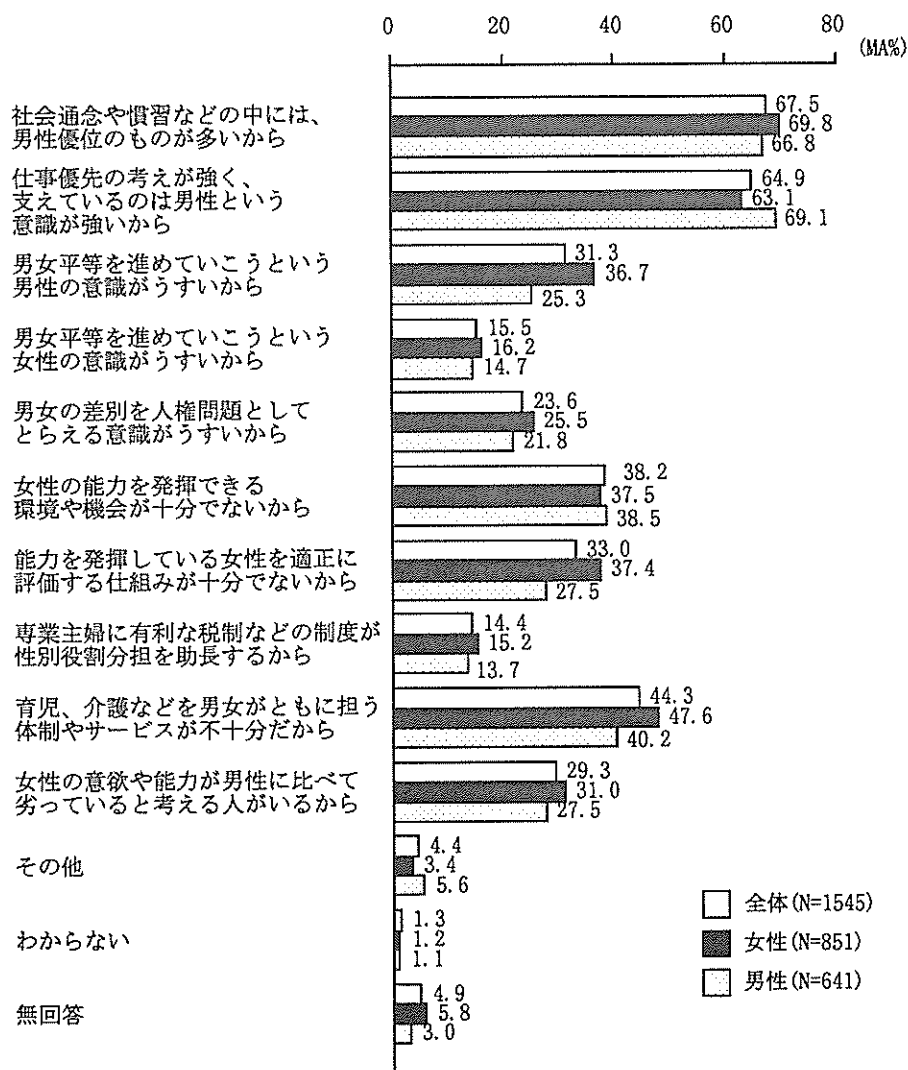
<前回調査>と比べると、「家庭生活」「学校」「職場」「法律や制度」の4つの局面で「男性優遇」が減少している。また、「職場」及び「法律や制度」については、「平等である」が約3～5ポイント近く増加し、他の局面よりも男女平等が進んだことがうかがえる。一方、「地域活動の場」及び「社会通念、風潮、しきたりなど」では、「男性優遇」がそれぞれ4.2ポイント、2.8ポイント増加している。





1-2. 男女平等が実現されていない理由

問2 あなたは、今の日本の社会で男女平等になっていないとすれば、それはどのような理由からだと思えますか。あなたの気持ちに近いものをお答えください。(問1ですべて「平等である」と回答された方は、お答えいただかなくても結構です)(〇はいくつでも)



◇ 「社会通念や慣習での男性優位」「仕事優先の考え方や男性の意識」をあげる人が多い。

「男女平等が実現されていない理由」としては、「社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから」(67.5%)、「仕事優先の考えが強く、支えているのは男性という意識が強いから」(64.9%)の2つがいずれも6割を超え、次いで多い「育児、介護などを男女がともに担う体制やサービスが不十分だから」(44.3%)を20ポイント以上上回っている。

【性別】

ほとんどすべての項目で、女性の回答割合が男性を上回っているが、その差が特に大きいのは「男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから」(差 11.4ポイント)、「能力を発

揮している女性を適正に評価する仕組みが十分でないから」(差 9.9 ポイント)、「育児、介護などを男女がともに担う体制やサービスが不十分だから」(差 7.4 ポイント) などである。これに対し、男性の回答割合が女性を上回っているのは「仕事優先の考えが強く、支えているのは男性という意識が強いから」であり、その差は 6.0 ポイントである。

#### 【性・年代別】

「男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから」「能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが十分でないから」「育児、介護などを男女がともに担う体制やサービスが不十分だから」の 3 項目では、20～40 歳代の女性が高く、特に「育児、介護サービス」については過半数になっている。一方、「仕事優先の考えが強く、支えているのは男性という意識が強いから」では、60 歳以上の男性が 78.2% と特に高い。

#### 【性・職業別】

「社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから」では、女性のフルタイマーが 74.5% と他の職業と比べて高く、このほか「育児、介護などを男女がともに担う体制やサービスが不十分だから」「能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが十分でないから」「専業主婦に有利な税制などの制度が性別役割分担を助長するから」などの項目でも、他よりも割合が高くなっている。これに対し、「仕事優先の考えが強く、支えているのは男性という意識が強いから」については、女性のパートタイマー及び男性のパートタイマー・その他・無職が、他の職業と比べて多い。また、男女とも自営業・家族従業では、「女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」が 40% 強となっている。

女性のフルタイマー及びパートタイマーの回答をみると、「育児、介護などを男女がともに担う体制やサービスが不十分だから」がともに 50% を超え、「男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから」についてもほぼ半数である。「男女平等を進めていこうという女性の意識がうすいから」については、フルタイマー 26.2%、パートタイマー 19.5% となっており、女性自身の意識については、就労状況によって異なった考え方がみられる。

(MA%)

	調査数	多いから	社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから	意識が強いから	仕事優先の考えが強く支えていけるのは男性という意識が強いから	いから	男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから	男女平等を進めていこうという女性の意識がうすいから	男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすいから	環境や機会が十分でないから	女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	能力を評価している女性が十分に評価される仕組みが十分でないから	能力を發揮している女性を助長するから	専業主婦に有利な税制などの制度が性別役割分擔を助長するから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	女性に比べて劣っているから	女性に比べて劣っているから	その他	わからない	無回答
全体	1545	67.5	64.9	31.3	15.5	23.6	38.2	33.0	14.4	44.3	29.3	4.4	1.3	4.9							

## 【性別】

性別	調査数	多いから	社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから	意識が強いから	仕事優先の考えが強く支えていけるのは男性という意識が強いから	いから	男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから	男女平等を進めていこうという女性の意識がうすいから	男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすいから	環境や機会が十分でないから	女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	能力を評価している女性が十分に評価される仕組みが十分でないから	能力を發揮している女性を助長するから	専業主婦に有利な税制などの制度が性別役割分擔を助長するから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	女性に比べて劣っているから	女性に比べて劣っているから	その他	わからない	無回答
女性	851	69.8	63.1	36.7	16.2	25.5	37.5	37.4	15.2	47.6	31.0	3.4	1.2	5.8							
男性	641	66.8	69.1	25.3	14.7	21.8	38.5	27.5	13.7	40.2	27.5	5.6	1.1	3.0							

## 【性・年代別】

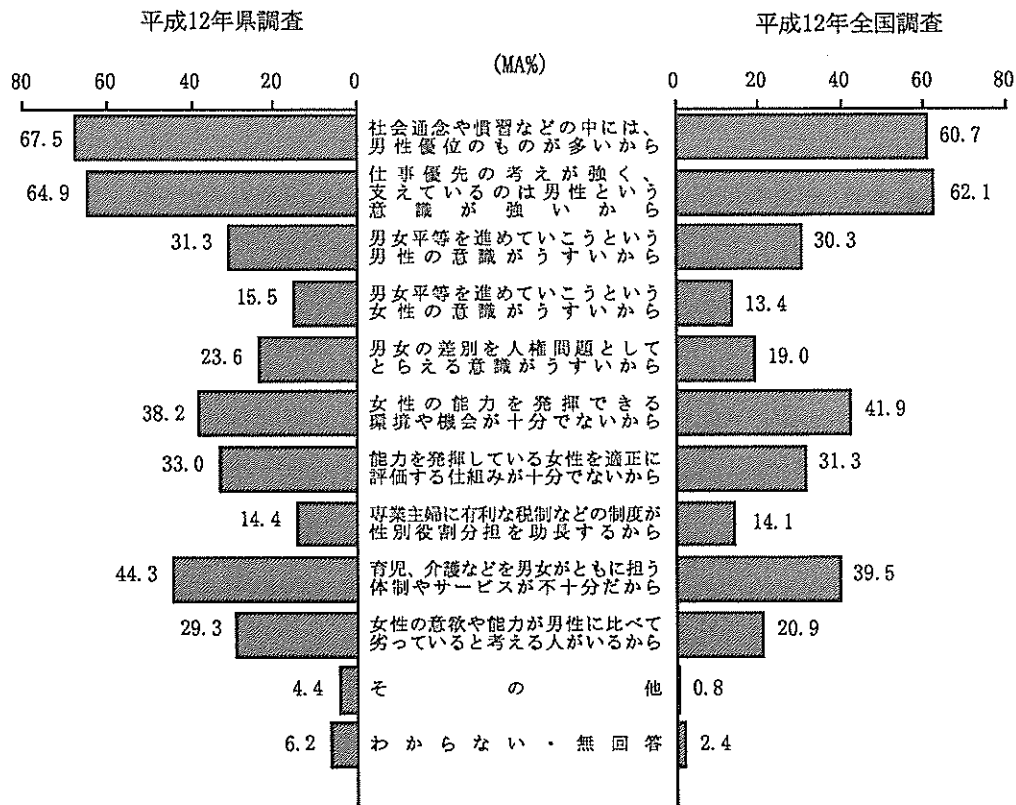
性	年代	調査数	多いから	社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから	意識が強いから	仕事優先の考えが強く支えていけるのは男性という意識が強いから	いから	男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから	男女平等を進めていこうという女性の意識がうすいから	男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすいから	環境や機会が十分でないから	女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	能力を評価している女性が十分に評価される仕組みが十分でないから	能力を發揮している女性を助長するから	専業主婦に有利な税制などの制度が性別役割分擔を助長するから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	女性に比べて劣っているから	女性に比べて劣っているから	その他	わからない	無回答
	30歳代	147	72.8	66.0	38.1	14.3	18.4	39.5	40.8	16.3	52.4	27.9	2.0	1.4	1.4							
	40歳代	157	77.7	68.2	46.5	19.7	33.8	43.3	43.3	19.1	55.4	28.0	3.2	0.6	1.9							
	50歳代	197	73.1	71.6	33.5	16.2	29.4	35.5	36.5	13.7	41.6	32.0	5.1	1.0	4.1							
	60歳以上	235	61.3	55.3	31.9	16.2	23.4	32.8	31.1	12.3	41.3	33.6	3.4	2.1	14.5							
男性	20歳代	83	51.8	56.6	34.9	9.6	19.3	31.3	24.1	7.2	34.9	22.9	9.6	1.2	2.4							
	30歳代	86	60.5	65.1	27.9	18.6	20.9	33.7	23.3	14.0	46.5	29.1	9.3	1.2	1.2							
	40歳代	107	68.2	62.6	27.1	15.0	30.8	39.3	29.9	19.6	41.1	23.4	5.6	0.9	5.6							
	50歳代	171	74.3	70.8	24.0	14.0	21.1	39.8	33.3	9.9	38.6	21.6	6.4	1.2	1.8							
	60歳以上	193	68.9	78.2	20.2	15.5	19.2	42.5	24.4	16.6	40.9	36.3	1.6	1.0	3.6							

## 【性・職業別】

性	職業	調査数	多いから	社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから	意識が強いから	仕事優先の考えが強く支えていけるのは男性という意識が強いから	いから	男女平等を進めていこうという男性の意識がうすいから	男女平等を進めていこうという女性の意識がうすいから	男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすいから	環境や機会が十分でないから	女性の能力を発揮できる環境や機会が十分でないから	能力を評価している女性が十分に評価される仕組みが十分でないから	能力を發揮している女性を助長するから	専業主婦に有利な税制などの制度が性別役割分擔を助長するから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	育児・介護などを男女がともに担う体制やサービースが十分でないから	女性に比べて劣っているから	女性に比べて劣っているから	その他	わからない	無回答
	フルタイム	149	74.5	65.8	43.0	26.2	26.2	32.9	47.7	20.8	54.4	27.5	4.0	0.7	2.7							
	パートタイマー	154	70.8	69.5	43.5	19.5	25.3	38.3	41.6	15.6	50.0	28.6	3.2	0.6	2.6							
	その他、無職	406	70.0	64.0	32.8	12.6	26.1	37.2	33.7	14.5	47.0	35.0	3.4	1.5	5.2							
男性	自営業・家族従業員	111	67.6	66.7	23.4	14.4	18.9	43.2	27.0	16.2	35.1	26.1	4.5	0.9	3.6							
	フルタイム	318	69.5	67.3	28.0	15.4	25.2	37.4	29.6	13.8	41.8	24.5	6.6	0.9	1.6							
	パートタイマー、その他、無職	167	62.9	74.3	22.8	12.6	17.4	37.1	22.2	9.6	41.3	34.1	3.0	0.6	4.8							

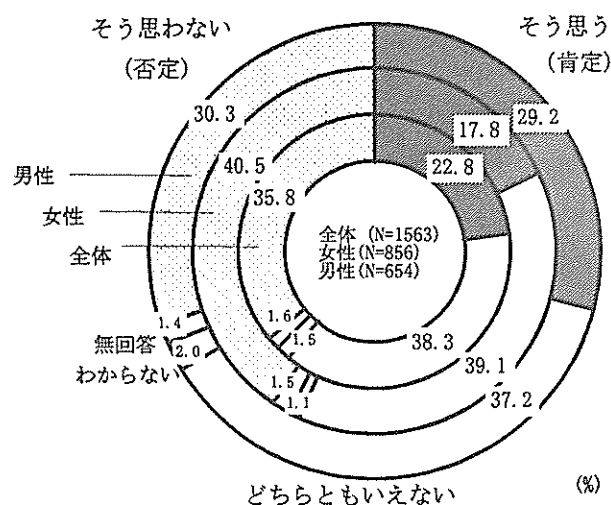
【全国調査との比較】

〈全国調査〉と比べると、「社会通念や慣習などの中には男性優位のものが多いから」「仕事優先の考えが強く、支えているのは男性という意識が強いから」の2項目で、県が全国をそれぞれ 6.8 ポイント、2.8 ポイント上回っており、問1の「社会通念、風潮、しきたりなど」に対する「男性優位」の評価を反映した結果となっている。このほか、「育児、介護などを男女がともに担う体制やサービスが不十分だから」「女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると考えている人がいるから」「男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすいから」などについても、県の方が高い。



### 1-3. 性別役割分担意識

問3 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)



◇ 女性では4割が「そう思わない=性別役割分担否定」、男性では意見がほぼ二分。男女とも40歳代の前半・後半を境とした年代による意識の違いがみられる。

「男は仕事、女は家事・育児」という性別役割分担について、「そう思う=肯定」が22.8%、「そう思わない=否定」が35.8%、「どちらともいえない」が38.3%となっている。性別役割分担に否定的な考えが、肯定的な考えを13ポイント上回っている。

#### 【性別】

男性では「肯定」が29.2%、「否定」が30.3%と、考え方がほぼ二分している。これに対し女性では、否定的な考えが40.5%で、肯定的な考え(17.8%)の2倍以上となっている。

#### 【性・年代別】

「肯定」は高年男性に特に高く、50歳代後半で39.2%、60歳以上では44.0%と4割を超えている。一方、女性でも高年層では「肯定」が比較的多く、男性よりも少ないものの、女性の50歳代後半20.8%、女性の60歳以上では32.4%となっている。「否定」は、男性の20歳代後半と女性の20~50歳代前半で、50%と高くなっている。

性別役割分担については、それぞれの年代での男女差があるが、年代での意識の差は40歳代後半を境とみることができる。「否定」についての各年代での男女差をみると、55歳以上では差が約4~6ポイントにとどまっているが、30歳代及び50歳代前半では12~16ポイント程度に大きくなり、45~49歳では22.3ポイントと最も開きが大きくなっている(20歳代後半を除き、女性の回答割合が男性を上回っている)。また、20歳代前半でも男女差が20.2ポイントと大きい。

#### 【性・共働きの有無別】

男女とも、共働きでは、「否定」が「肯定」を上回っており、特に共働き女性は「否定」が

半数（50.9％）を占めている。これに対し、共働きでない人たちは、男女とも「肯定」の割合が高く、女性では 20.2％（共働きでは 13.6％）、男性では 36.8％（共働きでは 23.5％）となっている。

【性・職業別】

「肯定」は、男性のパートタイマー・その他・無職で 34.9％と最も高く、次いで男女とも自営業・家族従業で約 30％となっている。「否定」は、女性のフルタイマーが 55.7％で最も高い。次いで女性のパートタイマーが 46.8％だが、「どちらともいえない」が女性のパートタイマーでも 40％強はおり、女性の中でも働き方の違いが回答の違いに表われている。

		（％）					
		調査数	そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
全体		1563	22.8	35.8	38.3	1.5	1.6

【性別】

性別	調査数	そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
女性	856	17.8	40.5	39.1	1.1	1.5
男性	654	29.2	30.3	37.2	2.0	1.4

【性・年代別】

性別	年代	調査数	そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
女性	20～24歳	46	13.0	54.3	32.6	-	-
	25～29歳	69	8.7	47.8	40.6	-	2.9
	30～34歳	81	8.6	46.9	43.2	1.2	-
	35～39歳	67	6.0	50.7	43.3	-	-
	40～44歳	66	12.1	47.0	40.9	-	-
	45～49歳	91	6.6	47.3	45.1	-	1.1
	50～54歳	96	17.7	44.8	35.4	1.0	1.0
	55～59歳	101	20.8	33.7	39.6	3.0	3.0
60歳以上	238	32.4	27.3	36.1	1.7	2.5	
男性	20～24歳	41	9.8	34.1	51.2	2.4	2.4
	25～29歳	42	16.7	54.8	21.4	7.1	-
	30～34歳	41	19.5	34.1	46.3	-	-
	35～39歳	46	21.7	39.1	37.0	2.2	-
	40～44歳	45	13.3	40.0	46.7	-	-
	45～49歳	64	25.0	25.0	45.3	3.1	1.6
	50～54歳	95	21.1	28.4	48.4	1.1	1.1
	55～59歳	79	39.2	26.6	32.9	-	1.3
60歳以上	200	44.0	23.5	27.5	2.5	2.5	

		（％）					
		調査数	そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
全体		1563	22.8	35.8	38.3	1.5	1.6

【性・共働きの有無別】

性別	共働きの有無	調査数	そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
女性	共働きしている	220	13.6	50.9	35.0	-	0.5
	共働きしていない	292	20.2	33.2	45.9	0.3	0.3
男性	共働きしている	153	23.5	32.7	40.5	2.6	0.7
	共働きしていない	296	36.8	25.0	36.1	1.0	1.0

【性・職業別】

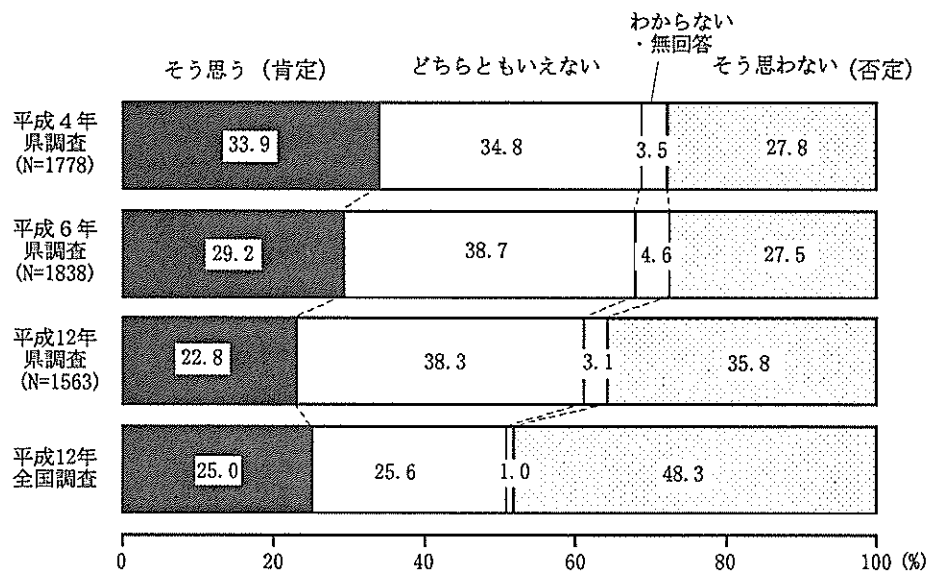
性別	職業	調査数	そう思う	そう思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
女性	自営業・家族従業	81	28.4	37.0	34.6	-	-
	フルタイマー	149	9.4	55.7	31.5	0.7	2.7
	パートタイマー	156	11.5	46.8	40.4	0.6	0.6
男性	その他、無職	408	20.1	34.1	44.1	1.0	0.7
	自営業・家族従業	114	32.5	22.8	42.1	1.8	0.9
	フルタイマー	323	23.5	30.7	43.0	2.2	0.6
女性	パートタイマー、その他、無職	172	34.9	33.7	27.9	1.2	2.3



【全国調査・前回調査との比較】

〈全国調査〉と比べると、「肯定」は、県の方が2ポイント程度少ないが、県調査では「どちらともいえない」の割合が高く、「否定」も全国より少ない。

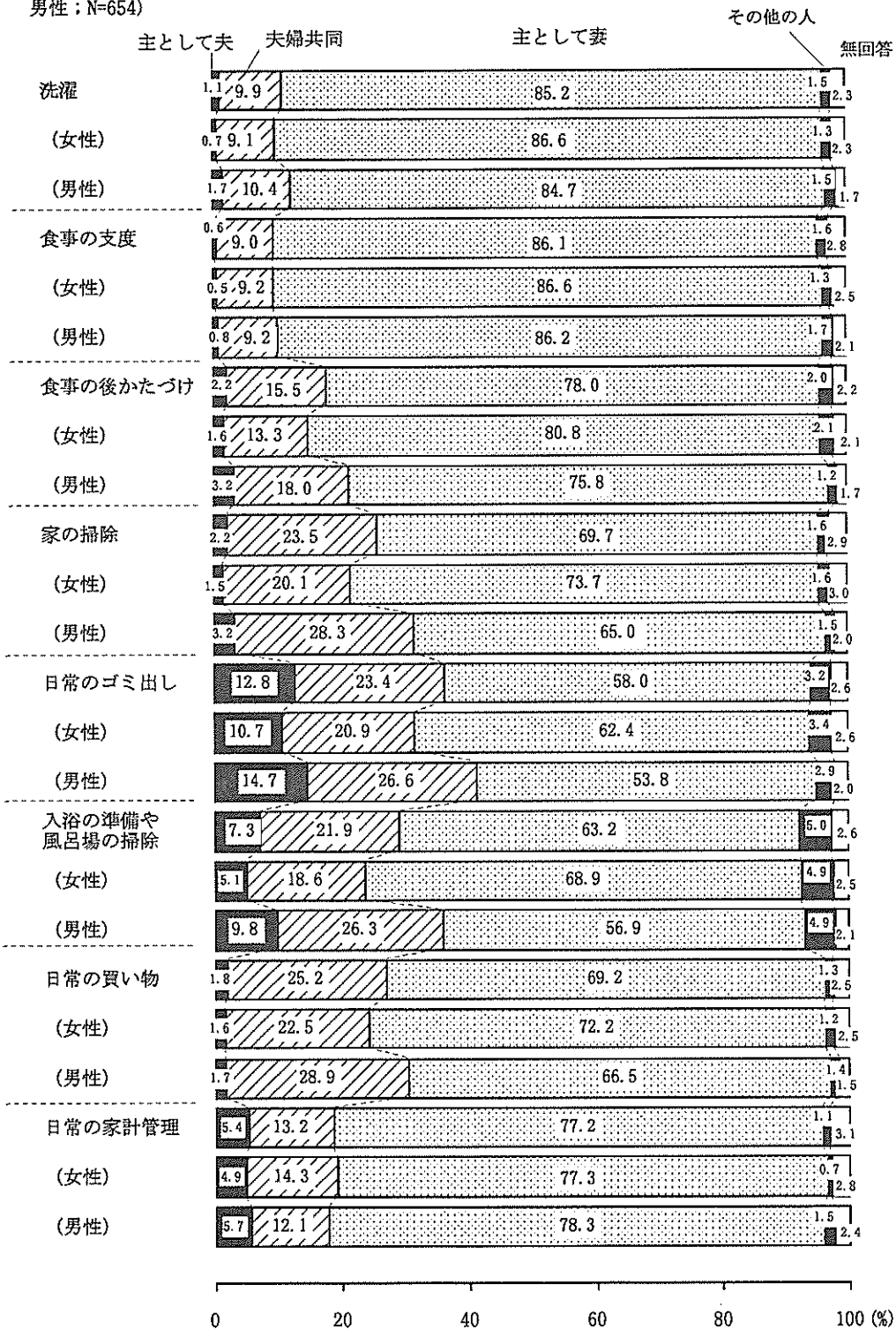
〈前回調査〉及び〈前々回調査〉と比べると、「肯定」は一貫して減少傾向がみられ、8年前よりも10ポイント以上減少している。一方、「否定」は、〈前回調査〉と〈前々回調査〉ではいずれも30%弱でほぼ横ばいだが、〈前回調査〉の27.5%から今回は8.3ポイント増加しており、「否定的な考え」をもつ人の割合が増えている。



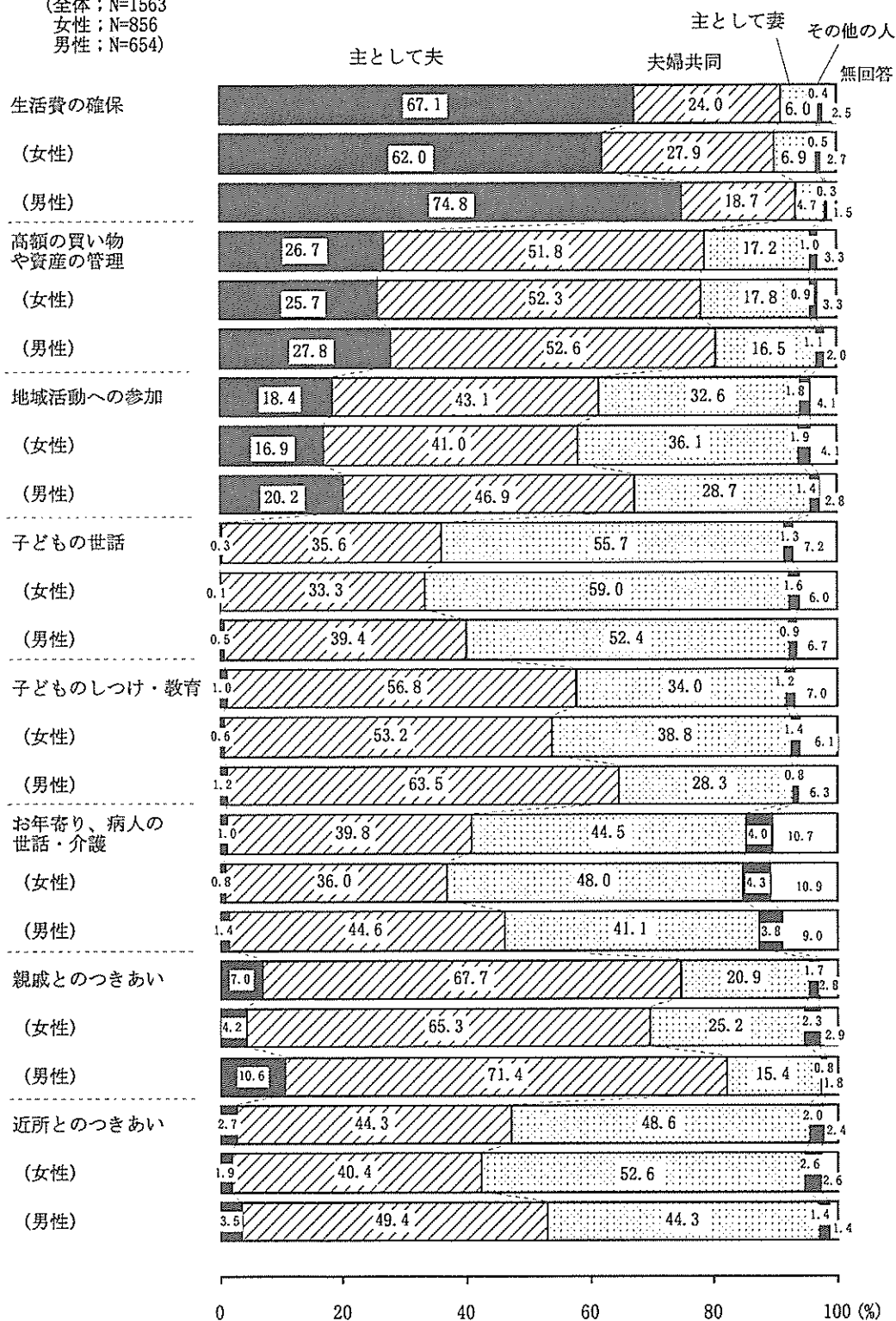
1-4. 家庭内の役割分担

問4 あなたのご家庭では、次にあげたような日常的なことについて、夫婦でどのように役割分担されていますか。アからタのそれぞれについてお答えください。配偶者のいない方も、次のようなことがどなたの役割だとお考えになるかをお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

(全体; N=1563  
女性; N=856  
男性; N=654)



(全体；N=1563  
女性；N=856  
男性；N=654)



◇ 「親戚づきあい」「子どものしつけ・教育」「高額の買い物や資産の管理」などは夫婦共同が5割以上。

家庭生活の16の分野でそれぞれの役割分担について尋ねたところ、炊事、洗濯、掃除などの家事や日常の買い物など、日常的な事柄の多くについては「主として妻」が70～90%を占めている。これに対し、「主として夫」が最も多いのは「生活費の確保」で67.1%であり、「男は

仕事、女は家事」の性別役割分担の実態が表われている。

「夫婦共同」が多いのは「親戚とのつきあい」で 67.7%、次いで「子どものしつけ・教育」56.8%、「高額な買い物や資産の管理」51.8%などである。同じ子どもに関することでも、「子どもの世話」については、「主に妻」が 55.7%となっており、「夫婦共同」は 35.6%にとどまっている。また、「お年寄り、病人の世話・介護」についても、「主に妻」がおよそ半数（44.5%）で、「夫婦共同」は 39.8%となっている。育児・介護は、日常的な家事に比べて夫の分担度は高いものの、依然として妻の役割が大きい。地域活動や近隣とのつきあいでは、「夫婦共同」はそれぞれ 43.1%、44.3%となっている。

以上の結果から、夫が家庭での役割を担っている実態は、依然としてかなり少なく、分野も偏っていることがうかがえる。この実態をさらに詳しく分析するため、『夫の分担スコア』（下記参照）を算出し、夫の役割分担の実態を女性、男性それぞれがどのように評価しているか、以下のとおり分析を行った。

『夫の分担スコア』

夫の役割の実態を評価するため、回答をスコア（得点）化したものである。それぞれの分野について、「主として夫」という回答に2点、「夫婦共同」という回答に1点、そのほかの回答に0点を与え、各分野ごとに、回答者全員の得点を積み上げ、無回答を除く回答者数で除すことにより、平均スコアを算出している。スコアが2点に近いほど夫の分担の度合いに対する評価が高く、0点に近いほど低いことを意味する。16分野の平均スコアは 0.55 となっている。

【性別】

「炊事、洗濯、掃除などの家事や日常の買い物」などについては、夫の分担度合いに対する評価が、全体的に低くなっている。（下左グラフ）全項目中、評価が最も高いのは「生活費の確保」、次いで「高額な買物や資産の管理」「親戚とのつきあい」「地域活動への参加」などの項目であり、これらと比較した場合、育児や介護、近所づきあいについての評価は低くなっている。（下右グラフ）

16分野の平均スコアは、女性 0.47 点、男性 0.65 点となっており、男性の「自己評価」が女性の「夫に対する評価」を上回っている。男女による評価の差が大きいのは、「親戚とのつきあい」「入浴の準備や風呂場の掃除」などの項目である。

【夫の分担スコア（性別）】

